



R コマンド

この章では、R で始まる Cisco NX-OS FabricPath コマンドについて説明します。

reference-bandwidth (FabricPath)

インターフェイスの設定に使用される参照帯域幅を変更するには、**reference bandwidth** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

reference-bandwidth *bandwidth* {Mbps | Gbps}

no reference-bandwidth *bandwidth* {Mbps | Gbps}

構文の説明

<i>bandwidth</i>	帯域幅を指定します (Mbps 単位または Gbps 単位)。指定できる幅は 1 ~ 400000 Mbps および 1 ~ 400 Gbps です。
Mbps	帯域幅を Mbps で指定します。
Gbps	帯域幅を Gbps で指定します。

コマンドデフォルト

デフォルトの設定は次のとおりです。

- Gbps : 400
- Mbps : 400000

コマンドモード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、Gbps インターフェイス用の参照帯域幅を変更する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# reference-bandwidth 500 Gbps
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath Layer 2 IS-IS を表示します。

root-priority (FabricPath)

ルートになるノードのプライオリティを設定するには、**root-priority** コマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

root-priority *value*

no root-priority *value*

構文の説明

<i>value</i>	トポロジごとのルートプライオリティ値。指定できる範囲は 1 ~ 255 です。デフォルトは 64 です。
--------------	--

コマンド デフォルト

デフォルト値は 64 です。

コマンド モード

FabricPath IS-IS コンフィギュレーション モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

優先順位値の最も高いノードが、ルートになる可能性が高くなります。
このコマンドには、Enhanced Layer 2 ライセンスが必要です。

例

次に、ルートになるノードのプライオリティを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config)# fabricpath domain default
switch(config-fabricpath-isis)# root-priority 1
switch(config-fabricpath-isis)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show fabricpath isis	FabricPath IS-IS 情報を表示します。

